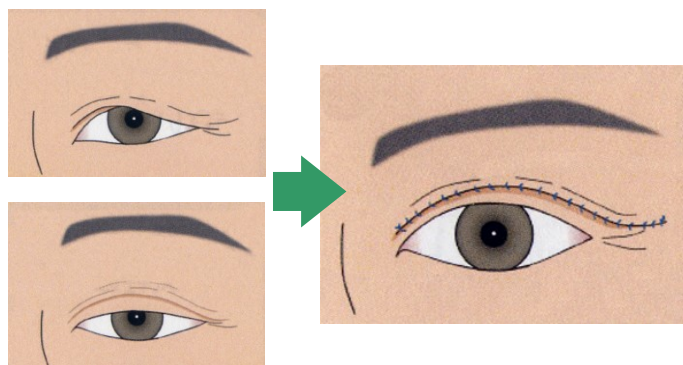


がんけんかすいしょう 眼瞼下垂症の 手術について



眼瞼下垂症とは

老化やコンタクトレンズの長期使用などが原因で、まぶたが下がって開けにくくなる状態のことを言います。

以下のような症状のある方は、眼瞼下垂の可能性が
ありますので、お気軽にご相談ください。

チェック

- まぶたが重く開けづらい
- 額にシワが目立つようになった
- 左右で目の大きさが違う
- 肩こりがある
- 視野が狭くなった
- 昔に比べ目が小さくなった気がする
- 片頭痛がある
- 上まぶたが凹んでいる
- 眼精疲労が強い



「老化だからしかたがない」と、あきらめる必要はありません。手術によって治療することができます。

手術方法は下垂の原因によって大きく2通りに分かれて
ますが、両方同時におこなうこともあります。

※麻酔は局所麻酔で、基本的に日帰り手術となります
が、ご不安な場合は入院も可能です。

※美容目的でなければ、健康保険が適用されます。

詳しい費用に関しては医師にお尋ねください。

手術までの流れ

①医師の診察

できる限り理想のまぶたに近づけられるように、手術
を担当する医師が皮膚の状態や、まぶたの筋肉の機能
などについて詳しく診察をおこないます。

この際、術後との比較のため、写真を何枚か撮影させ
て頂きます。

②手術日の予約、同意書の作成

手術をご希望される場合、患者さまのご都合に合わ
せ、手術日を予約させていただきます(手術可能な曜日
は水曜日か土曜日となります)。

患者さまに合った手術法について担当医から詳しい
説明があります。十分納得していただいてから同意書に
サインをお願い致します。

③術前検査

手術に備え、感染症や出血しやすい病気をお持ちで
ないか、簡単な採血検査をおこないます。

※心臓や脳の病気で、抗凝固剤(血をサラサラにするお
薬)を飲まれている方は診察時に必ず医師、または看
護師にお伝えください。

岡山旭東病院 形成外科 診察日

	月	火	水	木	金	土
午前	—	—	○	—	—	○
午後	—	—	○	—	—	—

診察時間 午前:9時～12時

午後:2時30分～4時

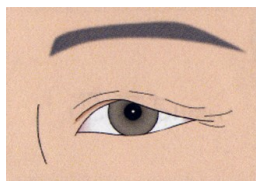
※予約制となっております。

まずはお電話にてお問い合わせください。

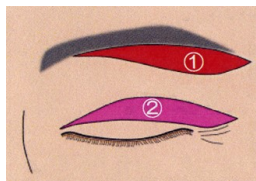
TEL. 086-276-3231(代表)

手術方法

①皮膚がたるんでいる場合



まぶたを開く機能は正常ですが、たるんだ皮膚が前に覆いかぶさって視野を塞いでいる状態です。視野を確保するために眉毛を上へ挙げる傾向があります。

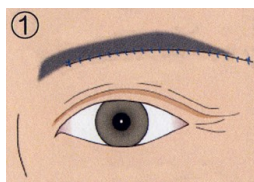


局所麻酔注射後に、たるんだ皮膚を切除します。

切除の方法は2通りあります。

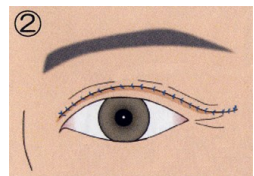
- ①眉毛下の皮膚を切除する方法
- ②まぶたの皮膚を切除する方法

①眉毛下の皮膚を切除する方法



まぶたの皮膚に手を加えないため、より自然な二重になります。

②まぶたの皮膚を切除する方法



二重のラインをある程度自由に決められます。皮膚の切除量が多い場合や、皮膚が厚い場合は、やや不自然な仕上がりとなることがあります。



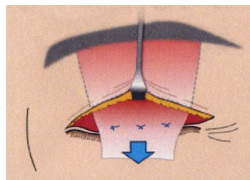
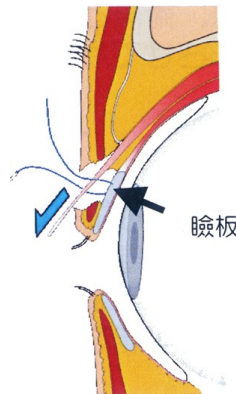
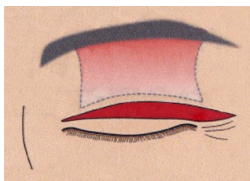
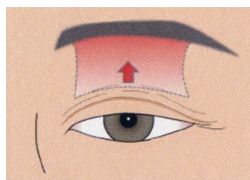
▲術前



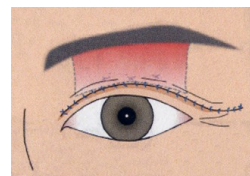
▲術後

②まぶたの筋肉が緩んでいる場合

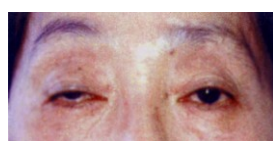
上まぶたを挙上する筋肉(眼瞼挙筋)の一部がゆるんで、十分に目を開くことができない状態です。この場合も視野を確保するために、眉毛を挙げる傾向があります。



局所麻酔の注射後、二重ラインを切開し、ゆるんだ筋肉の一部を引っ張り出して、まぶたの瞼板という組織に縫合します。皮膚が余る場合には皮膚の切除もおこないます。



体を起こした状態で、十分目が開くことを確認後、皮膚縫合して手術終了です。術後は楽に目を開けることが可能となり、眉毛も本来の位置に下がってきます。



▲術前



▲術後

手術後の注意点など

- ・手術終了後、30分～1時間、外来の安静室でまぶたのクリーニングを行った後、出血等の問題がないことを確認してからご帰宅していただきます。
- ・ご帰宅後もできるだけ24時間はまぶたのクリーニングをおこなってください。
- ・1週間は激しい運動はお控えください。
- ・入浴は手術翌日から可能です。

- ・抜糸は1週間後の外来でおこないます。
- ・目元のお化粧品は抜糸翌日よりしていただいて構いません。
- ・抜糸後、手術から1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後を目安に外来診察、及び写真の撮影をお願いしております。

☆その他、ご不明な点など有りましたら、形成外科担当看護師にご相談ください。

